



2018-2019
No.1545
2018.9.13

会長：小曾根一雄 幹事：茂木清七
会員数：45（休会 1）会場出席：27 欠席：17
出席率：61.36% 前々回出席率：84.44%
点鐘：小曾根一雄会長 司会：本山佳宏SAA
ロータリーソング：奉仕の理想（タクト：見城登志雄）
例会会場：ホテルベラヴィータ 3F 12:30～

会長の時間

小曾根一雄 会長

先般の北海道での地震被災者の方々にお見舞い申し上げます。

さて、暑い夏が嘘のように、朝晩冷え込むようになって参りました。高橋さんのエレクトーンの演奏も「赤とんぼ」で秋を感じました。皆さん、お体に変調はきたしていませんか。あの暑さが、何だか懐かしく感じられます。わがままですね。

昨今のテレビ報道では、「セクハラ・パワハラ疑惑」の放送が度々なされておりますが、どちらも受ける側の感じ方が非常に重要だと思われまます。ただし、暴力や不正行為などは決して容認されるものではありません。

そのような報道を聞きながら、今月のテーマを調べたら「基本的教育と識字率向上月間」と「ロータリーの友月間」でした。

私も会長職として早二ヶ月と少しが過ぎましたが、一向に落ち着いて事に当たる事が出来ていない状況を深く反省しておるところです。事に追われるのではなく、事を追って突き詰めていけるようにしていきたいです。

先日、茂木幹事と私で渋川みどりロータリークラブにメイクしてきました。その日は、当クラブの生方パストガバナーの卓話でしたので拝聴致しました。「会員増強・会員維持」というテーマで、当クラブで日頃から実践している事をパワーポイントを使用しながら丁寧に分かり易くお話しくださいました。私たちは、ロータリーの月間テーマ「基本的教育」をまさしくメイクで実践してきたわけです。日々、勉強ですね。

会長職のお話を頂いた時に、ある程度覚悟はしておりましたけれど、改めて「ロータリーは深い」と、感じております。先月が「会員増強月間」でもあり、常に奉仕と勉強に明け暮れる日々と感じております。

皆さんと共にロータリーを学び、ロータリーを知り、仲間を思いやり、楽しい例会と、しっかりした内容ある奉仕活動を実践していきたいと思っております。



幹事報告

茂木清七 幹事

- ①森田ガバナーエレクト事務所開設のお知らせが届いています。
- ②先日の地区大会チャリティーゴルフコンペに参加された小曾根会長・堤パスト会長、お疲れ様でした。
- ③9/11（火）渋川みどりRCへ、生方パストガバナーが出前講座に行ってきました。お疲れ様でした。
- ④来週の卓話者は、郷土歴史研究家の高山正様です。
- ⑤9/27（木）18時よりベラヴィータにて、入会3年未満の会員の研修を行います。対象の会員の方は、出席の程宜しくお願い致します。
- ⑥行事予定は幹事が報告しますが、詳細や取りまとめは担当委員会の委員長さんにてお願い致します。
- ⑦本日、例会終了後に臨時理事会を開催します。



見城 登志雄



小曽根 一雄

先日、渋川みどりRCへメイクしてきました。他のクラブ運営もとっても参考になると思います。皆様も誘い合っ
てメイクに行きましょう。

茂木 清七

本日、定例議会につき早退させていただきます。

國府田 坦

今日は、パスト会長卓話でお世話になります。

小林 照夫

大坂なおみ選手が、テニスの世界4大大会全米オープンの女子シングルス決勝で、セリーナ・ウィリアムズ選手を破り日本人初のメジャーを制覇した。今後の活躍が楽しみです。おめでとう。

山田 豊

自炊は楽し！ 男ありて 独り サンマを喰ふ
今夜はいも煮を作ろう。

宮田 美行

写真をプリントする機械のハードディスクが壊れてしまい、乗せ替えて新たにセットアップをして、復旧したのが本日未明午前1時でした。朝6時からオーダーをこなしています。まだまだ間に合いません。なので早引きします。

委員長 所信表明



長期戦略委員会 小林照夫委員長

パスト会長卓話

「沼田中央ロータリークラブ誕生まで」について、当時の資料を元に語って頂きました。



國府田坦パスト会長

昭和62年(1987)3月号
「ロータリーの友 談話室」掲載

ポリオ・プラス募金
一石二鳥の方式

沼田中央 國府田 坦

当クラブ(飯塚芳太郎会長)は、昨年六月二十二日に認証状伝達式を終えたばかりの新生のクラブである。初年度の七月からポリオ・プラス計画の募金活動が開始されたので、新クラブらしく、この新しい計画に真剣に取り組んでいる。当クラブのステッカー方式について紹介する。「ポリオ・プラス協力者」のステッカーを作成し、全会員宛に二十枚のステッカーと趣旨を説明したチラシを配布した。会員はロータリアン以外の知人やお得意先の方に千円の募金を依頼してステッカーを渡し、車や玄関に貼ってもらう。ポリオ・プラス計画を地域社会に浸透させロータリーの広報の一役も担ってもらうのが目的である。この当クラブの募金作戦は順調に進展しており、全会員が年間二万円以上の募金を調達することは確実である。開業医の会員は待合室にポリオ・プラス協力箱を設置して、かなりの成果を上げている人もいる。このステッカー方式は、ポリオ・プラス募金とロータリー財団寄付金成績を上昇させ、さらに新クラブとしてロータリー広報もできる一石二鳥の効果がある。ガバナー公式訪問で新クラブらしい斬新なアイデアとほめられ、ご披露する次第である。(産婦人科医・群馬県)



協力者に渡すステッカー